

ネジール君の 経過は良好

A M D A・近藤さん

コソボから帰国

ユーゴスラビア・コソボ

自治州で、A M D Aから調整員として派遣されていた近藤麻理さん(36)は倉敷市に帰国し7日、岡山市のA M D A本部で記者会見した。小児がんの一種「網膜芽細胞しゅ」で昨年、金沢大付属病院(金沢市)で治療を受け、12月に帰国したアルバニア人のネジール・シニック君(3)について「病気の進行はなく、経過は極めて良好だった」と元気そうな姿を紹介した。

ネジール君は現在、主治医から定期的な検査を受け

ている。滞在中にネジール君の家族を訪れた近藤さんに「僕は元気だよ。病院で遊んだ友だちに会いたい」と話していたという。

近藤さんは昨年10月末に現地入りし、コソボ内3カ所の診療所を拠点に活動した。現地の様子について「難民は冬を乗り越えるのが精いっぱいだった。紛争の影響で電気や水道はストップしたまま。復旧作業は春以降になりそうで、当分援助が必要」と訴えた。

【柿沼 秀行】



コソボの自宅で家族に囲まれ、元気な姿を見せるネジール君(右から2人目)＝近藤さん撮影